## 事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農業振興課			■担当係	系 園芸畜産係	
■評価事業名称	死亡牛処理円滑化推進事業費補助金					
■事業開始年度						
■評価事業コード	050200 - 2	212	■会計区分	一般会計	t	
	■政策	03 ひと・	技・資源を組合	せ活気うま	∈れるまちづくり	
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策 03 魅力ある農林業の振興					
	■施策	施策 01 農業の生産性向上				
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業) ■政策・業務区分 政策				政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの					
■法令等の名称						
■関連計画の名称						
■事 業 の目的と概要	県南地域には することにより を図る。県南 補助。	3ける死亡牛 リ、畜産経営 処理施設の	処理等に係る。 の負担軽減を 稼働停止に伴う	割増経費に 図り、死亡4 前橋市に	三対して、県・市等 牛処理の円滑化 ある処理施設への	が一体となって支援 と畜産経営の安定化 の運搬経費に対する

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業コード 名称	事業の対象	平成 28 年度事業計画	平成 28 年度事業量実績
72 死亡牛処理 円滑化推進 事業費補助 金	畜産経営者	24か月齢以上 8,533円×15頭24か月 齢未満 8,000円×15頭	・24か月齢以上 8,533円×15頭 ・24か月齢未満 8,000円×36頭

#### 3. 投入コスト情報 (単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費		154	362	416	
人 件 費		1,045	1,340		
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト		1,199	1,702	416	

#### 4. 評価指標等の状況

指 コ·	は標・指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	事業の対象となった頭数		18頭	43頭	51頭	この事業は26年度から開始

# 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ) ■目標達成状況 ● A. 順調

達成状況の分析

今年度も年度内に補助金の支払いを完了させる ことができた。この事業は29年度で終了。

問題点•課題等

補助金が終了となることを畜産農家へ周知しな ければならない。

٠1.	直接	的な	受益者	の範囲

○ B. 概ね順調 C. 遅れている

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される
- 2. 事業廃止の影響
  - 大きな不利益やリスクが生じる
  - ある程度の不利益やリスクが生じる
  - 不利益やリスクは小さい
- 3. 国・県・民間との競合関係の有無・
- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

#### 4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない
- 5. 施策の改善需要度(市民意識調査) -
- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

- -6. 施策の優先度(市民意識調査)
  - 順位が高い
  - 順位が中程度
- 順位が低い

#### -7. 他市町村に比較しての優位性 -

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である
- -8. 実施主体の代替性
  - 民間委託等の拡充は難しい
  - 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能
- -9. 経済性・効率性の向上
- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含	ŧ,	)
-------------------------	----	---

- ■今後の方向性 -
- I. 拡充
- Ⅳ. 廃止・休止
- II.継続
- Ⅲ. 縮小

- V. 完了